

2019年JAF東北ジムカーナ選手権第6戦 2019年JMRC東北ジムカーナシリーズ第8戦  
2019年JMRC全国オールスター選抜第6戦 ENDLESS CUP ジムカーナ [JAF公認No.2019-6108]

開催日：9月1日 開催場所：スポーツランドSUGO西コース 格式：準国内 主催：SSC [クラブ登録No.公認04002]

フォト&レポート/友田宏之

PN1クラスはヒート1で好タイムを叩き出した太田代明大選手がそのまま逃げ切って優勝を飾った。



## 快走見せた太田代明大ロードスターが3勝目一番乗り!

**J**AF東北ジムカーナ選手権第6戦が9月1日、スポーツランドSUGO西コースで開催された。当日は雨の心配は無かったものの、9月とは言え、やはり厳しい残暑の中での戦いとなった。シリーズは既に後半戦へ突入しており、チャンピオン争いも気になるところだ。

コースは前半、中盤、後半の3カ所にパイロントーンを配置、そして最終セクションはスラロームと、コーナリングとパイロンワークが要求される設定となった。競技はPN1クラスからスタート。今季2勝しているポイントリーダー太田代明大選手は、第1ヒートから好調な走りです。2番手の善方広太選手に約4秒もの差を付けトップに立つ。シリーズ2位の善方選手は、今回勝って勝ち星を並べたいところ。しかし第2ヒート、タイムアップはしたものの4秒の壁

1. PN3クラスはヒート2で1分19秒台にタイムを乗せた佐藤宏明選手が逆転優勝。2. SA-2WDクラスは全日本のトップスラロームである小武拓矢選手が貫禄勝ちを見せた。

は厚く太田代選手が3勝目を上げる結果となった。

「SUGOはコース全体の起伏を意識して走りました。特にパイロントーンでは回りすぎたり、途中で止まってしまうよう心掛けました」という太田代選手は、昨年からジムカーナを始めたばかりのドライバー。今後の活躍にも期待がかかる。

続くPN3クラスでは、このクラス唯一のロードスターRFを駆るポイントリーダー佐藤宏明選手が第2ヒートで逆転優勝を決めた。

「1本めは前半でミスがあったのですが、クルマのセットアップも良い方向に進んでいるので、2本めは想定しているタイムを出せる自信がありました。ただ、藤原選手がどこまでタイムを上げてくるかは気になりました」と佐藤選手。その藤原雄司選手は第1ヒートはトップタイムを出したものの、第2ヒートはタイムダウンしてしまい、2位。佐藤選手が今季3勝目を

あげ、シリーズチャンピオンに向け、大きく前進した。

今回最多の参加台数となったのはFF、FR、ミッドシップの2輪駆動車が混走で争われるNSA-2WDクラス。今季2勝をあげてポイントリーダーの、S2000を駆る阿部崇治選手と、同じく2勝で2位の清水直人選手がシリーズの上位争いを展開しているが、第1ヒートをトップで折り返したのは阿部選手。

「1本めにトップタイムを出せたことで精神的なゆとりができたので、2本めは大胆なセッティング変更を試みました。若干乗り辛さもあったのですが、たまたま当たったようです(笑)」と、第2ヒートで自己タイムを更新し、今季3勝目。一方の清水選手は今回は振るわず5位に終わり、阿部選手がポイントを大きく引き離す結果となった。

SA-2WDクラスは、全日本ドライバー小武拓矢選手が優勝。「2本めは想定した以上にタイムアップして自分でもびっくりですね(笑)」と、第1ヒートのトップタイムから0.7秒更新し優勝。「最近、全日本ではミスが多かったので、リベンジも兼ねて真剣勝負で挑みました。久しぶりに納得の走りが出来ました」と今季4勝目。シリーズチャンピオンに王手をかけた。

SA-4WDクラスは、第2戦から4連勝中の





ポイントリーダー高瀬昌史選手が、同日に開催されていた関東地区戦に出場のため欠場。「今回は高瀬選手が居なかったで勝てました(笑)」とは、今季の開幕戦以来の優勝となった佐柄英人選手。「リフレッシュしたクルマのセ

ティングも決まってきました。まだチャンピオンの可能性があるので頑張ります」という佐柄選手は後半2戦、全勝を目指す。

SCクラスはランサーの佐藤英樹選手とシビックの松本大選手のシリーズ上位争い。ともに2勝ずつで迎えた今回、第2ヒートはコマ差の接戦となったが、制したのは佐藤選手。

「前日にサイドブレーキのトラブルに見舞われまして(笑)、なんとか修理して走れました。チャンピオン争いは最終戦までもつれ込みそうですが、松本選手と良い勝負をしたいです」と佐藤選手。ポイント差は僅

3. PN3で2位入賞の藤原雄司選手。4. PN1で2位入賞の善方広太選手。5. SA-2WDで2位入賞は熊谷修選手。6. NSA-2WDで2位入賞の藤原広征選手。7. 2台のS2000が優勝を争ったNSA-2WDクラスは阿部崇治選手が快勝した。8. SA-4WDクラスは2本とも1分16秒台にタイムを並べた佐柄英人選手が優勝。9. 東北シリーズクラス2はヒート1でベナルティに泣いた菊池敦選手が優勝。10. クラス3でもS2000が1-2フィニッシュ。米田茂選手が逃げ切った。11. NSA-2WD表彰の皆さん。12. PN1表彰の皆さん。13. PN3表彰の皆さん。14. SA-2WD表彰の皆さん。15. SA-4WD表彰の皆さん。16. SC表彰の皆さん。17. クラス2表彰の皆さん。18. クラス3表彰の皆さん。19. 2名のレースクイーンが会場を盛り上げた。20. SA-4WDで2位入賞の中原峰彦選手。21. SCで2位入賞の松本大選手。22. クラス2で2位入賞の宮本和彦選手。23. クラス3で2位入賞の川村茂倫選手。24. NSA-2WDで3位の青沼大選手。25. SCで3位の菊池功悦選手。26. クラス2で3位の木村文哉選手。27. クラス6で優勝した芦名政幸選手。

か3点。後半2戦に注目したい。  
併催のJMRC東北シリーズ第8戦は、クラス2はインテグラの菊池敦選手が、クラス3ではS2000の米田茂選手、クローズドのクラス6はRX-7の芦名政幸選手がそれぞれ優勝となった。

